

名古屋市 プロポーザル要旨



中スポーツセンター及び栄定住補足住宅

本施設の設計にあたっては、『人と地球環境にやさしい快適なスポーツセンターと住宅の併存施設の創造』を基本的な考え方として、下記の項目を重点基本方針とする。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 単純化 | (システム系統の統一) |
| 2. 標準化 | (ユニット化した汎用品の使用、機種の統一) |
| 3. 省力化 | (保守の簡易化) |
| 4. 建築計画と設備計画との協調融合 | (施工の合理化と工事費の削減) |
| 5. 環境への配慮 | (自然エネルギーの積極利用と天然資源保護) |

上記を取り込んだ設計により、結果的に建設コストの削減を実現し、更に省人化された簡単な操作運転管理により、省エネルギー化、ライフサイクルコストの低減が実現できる施設となる。



昭和スポーツセンター

● 地球環境に配慮した設備の設計方針

建物の設計から建設、運用、維持管理、改造及び廃棄に至る全ての過程を通して地球環境への影響が出来るだけ小さいものとする

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1. 自然エネルギーの最大(直接・間接)利用 | (太陽熱、太陽光、雨水、大気温度差、生物系等) |
| - 自然利用とテクノロジーを利用した応用利用 - | |
| 2. 省資源 | (限りある天然資源の有効利用、代替エネルギー) |
| 3. エネルギー消費効率の向上 | (システム効率、機器効率) |
| 4. 地球環境を害する諸要因の排除 | (オゾン層破壊、諸汚染、生態系への悪影響) |

以上の基本方針に加え、以下の項目も配慮する。

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 5. 人間の健康と地球環境に良い材料、システムの選定及びその評価 | (LCA) |
| 6. 長期間に亘る建物機能の保持と、 | (最新のニーズ、技術に容易に適合できる設備システム) |
| 保守に伴う発生廃棄物の減少 | |

以上を、周辺環境との調和／共生 のなかで行う。



特別養護老人ホームなごやかハウス丸池

本施設を、高齢者にとって、季節や1日の変化が感じられ、又快適で安心が出来、自立を促す施設とするために、出来る限り自然を取り入れた設計とする。一方、建設予定地が工業地域内の海に近い埋立地であるので、周辺環境(大気、騒音、温湿度、風等)を把握し、これにより室内居住環境が悪い影響を受けないように配慮した設備システムとし、樹木・緑等の建物周囲への配慮により、隣接する公園との一体感、近隣住人との一体感が図れる施設を目指す。

実施にあたっては、エネルギー源の選定と消費に対する配慮は勿論の事であるが、加えて下記項目の実現を基本方針とし、入居者の生活の自立を支援する、環境にやさしい施設を目指す。

① 安全性 ② 健康保持／清浄・清潔性 ③ 快適性 ④ 維持管理の容易性

この実現のために、身体機能、感覚機能、生理機能が低下してきている高齢者(入所者)とそれ以外の施設利用者(介護者、管理者、家族)との要求条件や留意事項の違いを考慮し、次のゾーンを設定した上で、以下のような設備設計を行う。